

ありがとうファンド(愛称ファンドの宝石箱)  
追加型株式投資信託/ファンド・オブ・ファンズ 分配金再投資専用

ありがとう投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)  
第304号 (社)投資信託協会会員

3月はありがとう投信の月  
3月になりました。

3月はありがとう投信にとっては大切な月です。5年前の3月9日に弊社は誕生しました。会社を設立した目的は「ありがとうファンド」を立ち上げ、多くの投資家の方たちと一緒にあってファンドを育てて投資家にも社会にも役に立とうという志があったからです。今月はこのありがとうファンドの原点から考えてみたいと思います。

## 「投資」の意味

そもそも投資の意味とは何でしょうか？

投資には二つの意味があります。

- ・ リターンを上げて、我々を豊かにしてくれる可能性があること
- ・ お金が活発に流れることを通じて社会が活性化する可能性があること

長く続いている金融危機と経済の劇的な悪化で、今申し上げている投資の意味が空々しく聞こえる方が多くいらっしゃると思います。それでは投資は意味がなくなったのか？いいえ、それどころかこれからますますその重要性が高まってきます。なぜかは後でお分かりいただけると思います。

投資ということでもう一つ申し上げれば、投資も市場も我々の社会を離れたところには存在できません。むしろ「市場は社会の鏡である」と言われているくらいに密接なものです。いま、市場がバブルの崩壊に蝕まれて、信用機能が働かなくなっている姿を見ると、「危機に見舞われた市場」は何かを示しているのかもしれないと思われます。つまり市場が歪んでしまったとすれば、歪んだ市場が映している社会にも変化を起こさなければならないのではないのでしょうか？アメリカの議論を聞いていると危機の中心にいた銀行や証券会社を非難する声が大いのですが、それだけではなく新しい大統領の下で「変革」に取り組もうという意思ははっきり現れています。その意思が大事です。

## 日本に欠けているもの

日本の中の議論が物足りない気がするのには「金融危機が来たので大変だ！」という守りの意識だけで、「これを機会に変えてゆこう！」という意思があまり感じられないからだと思います。

日本は長いデフレと経済の停滞に苦しんできました。悪い意味で慣れてしまったのかもしれないかもしれません。日本だけではなく地球と宇宙を考えれば、経済の停滞に慣れきって、考える力も将来を考える想像力も世の中を変えようという意思ももたない社会は単に異質だけではなくお荷物になりかねません。

世界中がこの危機の先にある大変化に向けて知恵を絞って動き出しています。私たちも自らの頭で考えて行動することがいよいよ大切だと思います。



市場の見通しはどうでしょうか？

## これからの市場を考える

今まで何度もご報告して来ましたが、世界的な信用バブルの崩壊の影響が凄まじいことになっているので世界中の政府と中央銀行が史上かつてない規模の経済対策を行っています。

これは大きく分けて3つの部分からなっています。

- (1) 流動性という資金を市場に流し込む つまり企業や個人がお金を貸し借りする時のタネ銭をたっぷり用意する
  - (2) 信用供与 民間の金融機関がお金を貸さないの中央銀行自らがお金を貸す
  - (3) 財政出動 減税して景気を刺激したり公共投資などの仕事を政府自らが作り出す
- つまり、民間の企業や個人が動かない(動けない)ので政府が代わって経済活動を行っているのです。これは異常です。少なくとも非常手段です。しかもそれを巨大な規模で行っているのです。このような状態で起こる可能性のある市場の動きはいくつかあると思いますが、その一つは、いわゆる目の前の経済の状態(大不況)とはかけ離れた動きが突然出現するケースです。市場が極端に悲観的になり、それに対応するために「流動性」といわれる資金がたっぷり注がれると、あとはその資金が活発に取引されるかどうかで市場の動きに極端な差が出る可能性があります。これからの市場で心に留めておかなければならないことの一つです。

これからのキーワード

1月の月次レポートで「意図せざる結果」ということを申し上げました。上で申し上げた異常な政策が実行され、経済にも市場にも影響を与えたり、期待した効果が出ない場合には失望を与えたりする時がこれからやってきます。その結果様々な意図せざる結果が出てくる可能性があります。これも要注意です。

もうひとつ、「無駄」ということもこれからのキーワードになります。

政府が行う経済活動には様々な意味で「無駄」が入り込む余地がたくさんあります。更に中央銀行が注ぎ込んでいる流動性も、経済や市場の動き方によっては不足したり余ったりします。足りなければ更に注ぎ込むでしょうが、余った時にはどうでしょうか?うまく無駄なお金を市場の外に吸い出すことが出来るのでしょうか?これも少し長い目で見ると大事な点です。

さて、最初に申し上げた「投資の重要性」に戻りましょう。投資には株式やファンドへの投資以外にも、企業や国・研究機関などの様々な投資も含まれます。企業活動を活発にしたり世の中に役立つものを生み出す技術のためにも投資は必要です。企業の場合で考えると、企業の中で生産や研究のために行われる投資と、その企業の株式(企業の持分)に投資する株式投資があります。このふたつのお金の流れは直接は交わりません。企業の株式に投資された資金がその企業の研究に廻るわけではないのです。



しかしふたつのお金の流れにはつながりがあると思います。まず、投資家が企業を見つめているという意識です。企業からすれば見られているという意識です。それが緊張感を生みます。その企業の配当も大事です。株価の値動きにはもっと注目するでしょう。それらの全てを通じて投資家と企業が緊張関係を持ちます。企業に「よりよい投資を行って企業価値を高めよう」という意識を与えることによってふたつの投資の流れは結びつきます。そのためには投資家と企業とふたつの立場に「意思」がなければなりません。すなわち「意思がある投資」に本当の意味があるのです。

5年前にありがとう投信が出来た時にも設立発起人が会社に投資しました。その投資は「意思を持った投資」でした。その意思の表れとして、5周年を記念して「1000円からのありがとうファンド」を始めました。

これからも志を持って進んでいきます。

引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

ありがとう投信株式会社 代表取締役 村山 甲三郎

基準日 / 2009年2月27日

基準価額 6,635円  
純資産総額 49億33百万円  
受益権総口数 74億35百万口  
年率複利( ) -8.73%

期間別騰落率

1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2.2%	32.7%	41.8%	47.3%	33.7%

「年率複利」とは、設定から現在まで運用を行った結果を、複利で換算した場合に何%でまわっていたかで表したものです。過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、また個々のお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。

皆様のありがとうファンドの基準価額は、月間で1.8%上昇しました(2月2日~3月2日)。

ファンド名	09/02/02	09/03/02	騰落率
ありがとう	6,569	6,690	+1.8%

また、各組入れファンドの月間の状況は右表の通りで、同じ時期の市場の値動きは、TOPIX(東証株価指数)が4.7%、MSCI\*のWI(先進国指数)が10.2%、同じくEM(新興国指数)が5.6%、円/ドル為替は8.5%の円安となっています。

ファンド名	09/01/30	09/02/27	騰落率
さわかみ	9,202	9,089	1.2%
トヨタグループ	6,863	7,488	+9.1%
社会貢献	6,447	6,493	+0.7%
TMA長期投資	5,828	5,832	+0.1%
NCヨーロッパ	5,643	5,864	+3.9%
NCエマージング	5,173	5,372	+3.8%
Alamcoハリス	3,992	3,969	0.6%

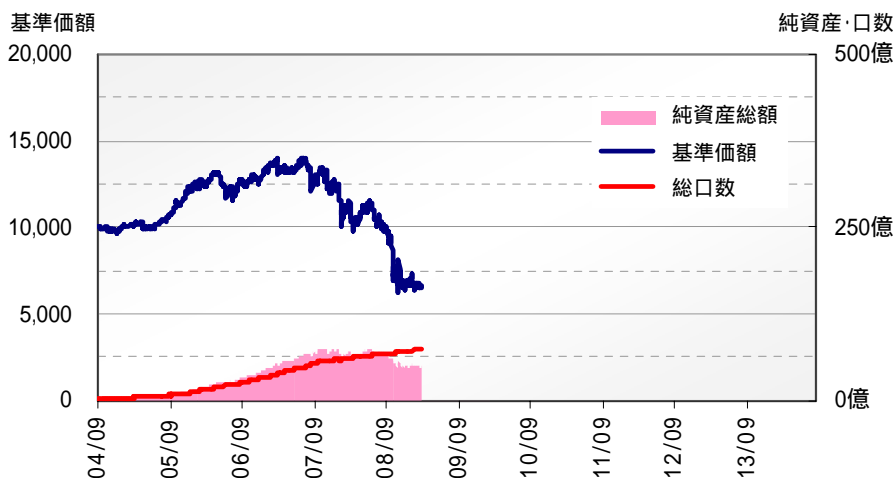
\*MSCI : モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル、世界で広く使われている株価指数を算出している会社です。騰落率はドルベースのnet指数で計算しています。

結局、2月も引き続きもみ合いに終始しました。このあとに、もしも上か下かどちらかに放れるとすれば、それは上の可能性の方が高いのではないかと先月ここで書きましたが、その見方は変わっていません。実際、2月後半の株式市場は下に放れそうで放れないしぶとさを見せ、それが逆にじわっと浮上の気配を漂わせているような動きにも感じられました。

さて、ここで今回の危機の構造を確認してみます。これを一言で言ってしまうと、世界的に『信用バブル』がはじけた、これにつきます。そして、そのあおりでバブルの大本にいた欧米の金融機関は大コケし、そのせいで世界中でお金が回らなくなってしまったこと、信用バブル(リスクの取り過ぎ)が急速に逆回転

したために、金融から消費まで全てにおいて世界中で萎縮してしまったこと、これらが結果です。金融がひどくやられている欧米は植物でいえば根腐れ状態ですから、これには抜本的処置が必要で、放置すれば枯死します。そのため各国が不良債権の処理に急ぎ、銀行の国有化などにも乗り出しています。

基準価額・純資産総額の推移



このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申度ください。

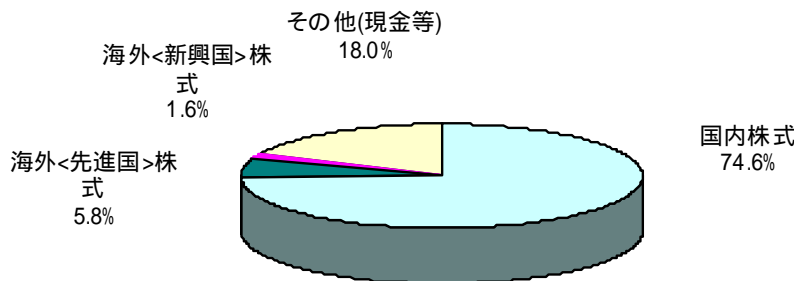
一方、日本の置かれた状況はというと、ほとんどの金融機関は大コケなどしていません。しかし、それでも同じように日本中が萎縮しているようです。企業業績悪化懸念からくる株安、そこから来る逆資産効果、それに心理的危機感が主因でしょうか。しかし、欧米と比較すれば、日本は、世界的な需要後退によって過大になった在庫の調整が、激しい勢いで起きているだけとも見えます。つまり、今はまだ金融という根がちゃんと生きていますから、水と養分を与えて環境を整えてやれば意外と早くシャキッとする可能性もあるのです。そこへ、日本では根腐れした国々と歩調を合わせて「あらゆる手立て」を講じようとしているのですから、これはいずれ期待以上に元気になったりすることもあり得ないことではありません。いずれにせよ、足下の日本の症状を確認するにあたって、在庫調整の進展は重要なポイントです。

2月27日に発表された鉱工業生産指数の速報値をみると、新聞の見出しどおり「過去最大の下落、25年ぶりの低水準」ですが、同時に発表された在庫指数は「5ヶ月ぶりの在庫低下(前月比)」でした。これはまさに、在庫が少しずつ動き始めたことの表れかも知れません。それに、日本の全体が萎縮しているように見えても、逆にチャンスとばかりに爪を研いでいる企業も中にはいくつもあるのですから、そろそろ日本が世界の先進国をリードして反転上昇に向かったとしてもおかしくはないところです。

ごく大まかに言うところの辺りが、私たちが今は日本株メインのポートフォリオを継続している理由の一つです。もちろん、下げ止まりから反発に向かったとしても、ずっと一直線の右肩上がりまで想定しているわけではありませんが、ここは意外高の可能性も押さえておきたいと考えています。

最後に、ありがとうファンド全体の資産配分状況(下のグラフ)の現金等の比率が前月より増えています、これは私たちが弱気という意味ではありません。個別の組入れファンドの中において、銘柄の入替え等で

ありがとうファンド全体(各ファンドの合計)の資産配分状況 <2月初現在>

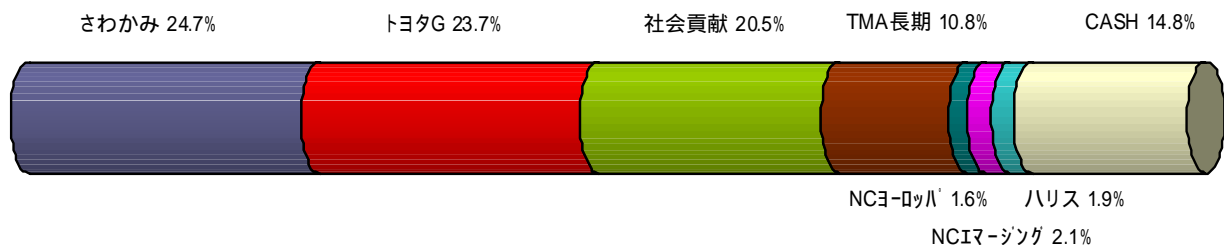


現金比率が上がったために、合計がこんなポジションになっているのです。

私たちは、直近はずっと少しずつファンドの買い増しを続けています。

投信企画運用部  
ファンドマネージャー  
岡 大

組入れファンドの比率 <2月末現在>



このレポート(P.1-4)の内容に連動した月次運用報告会を開催します。今月は3月14日(土)11:00~12:30、ありがとうファンドの運用者が担当いたします。詳しくはセミナー案内をご覧ください。

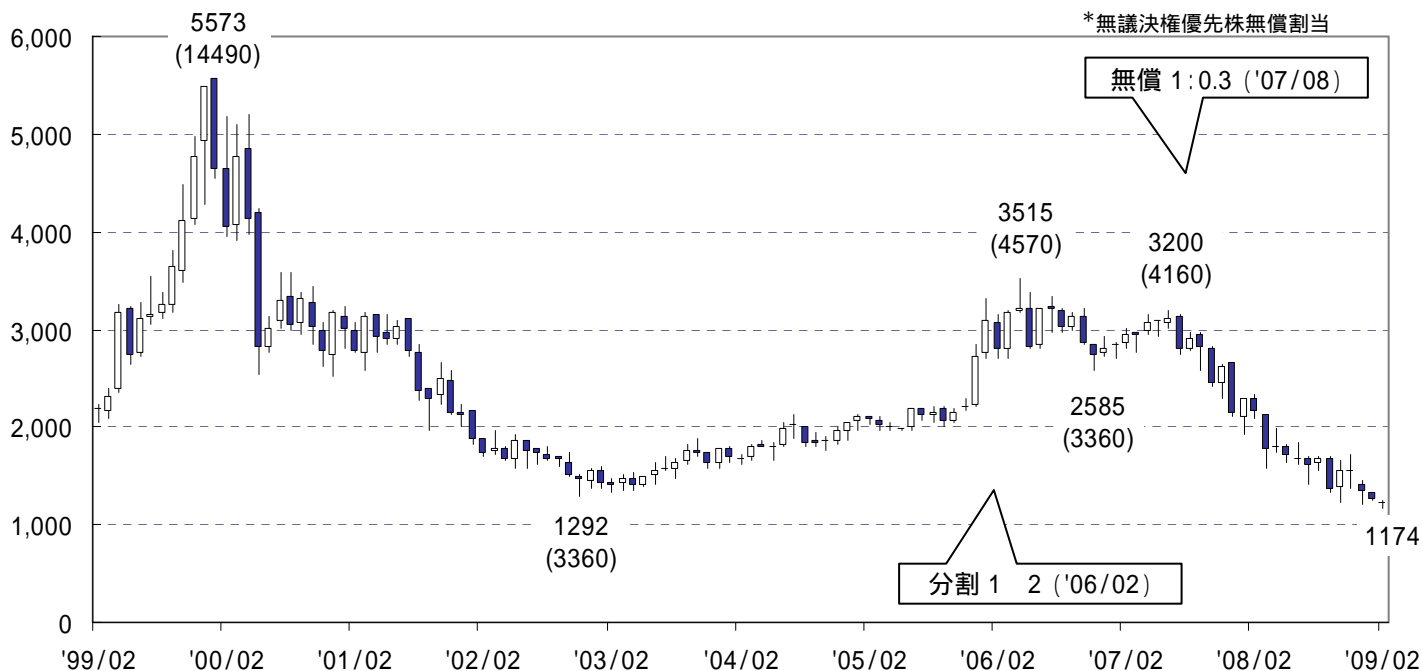
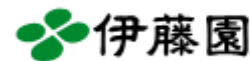
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

P.5-6 では個別企業の記載がありますが、特定銘柄の投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資の決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

ここでは、ありがとうファンドが組入れているファンドを通じて投資している企業についてご紹介しています。ありがとうファンドに入れていただいている資金は、組入れファンドを通じて多くの企業に投資されています。その投資先がどんな企業なのか、皆様はご存知でしょうか？

## (株)伊藤園 (2593 / 東証 1 部)

1966 創業、1992 店頭公開、1996 東証 2 部上場、1998 東証 1 部指定



### 缶コーヒーの思い出...

のっけから私事で恐縮ですが、「伊藤園」というと、私は、まず缶コーヒーを思い出します。

今から 20 数年前、缶コーヒーというとコーヒー牛乳のような代物が普通だった頃、深夜に国道 1 号線を走って帰省する途中に道路脇の自販機コーナーで何気なく買った缶コーヒーが『コーヒーの味がする！』と驚いて缶を見直したときに、「伊藤園」という当時はあまり聞かなかった社名が私の頭に強くインプットされたのです。皮肉なことに、今では緑茶飲料で無敵とも言える伊藤園にとっての、長年の弱点・課題の一つがコーヒー飲料なのですけれども。

それからわずか 20 年余りの間に「伊藤園」と聞けば誰もが知っているという存在にまで、この会社は急成長しました。一体何が起きたのでしょうか？

### 自ら市場を創出した

袋詰めのお茶をメインで商っていた伊藤園ですが、1981 年に缶入りウーロン茶、1985 年には缶入り緑茶の開発に、それぞれ世界で初めて成功しました。このうち特に、緑茶に関しては二つの大きな意味がありました。

一つは、水の中の酸素のため発酵（赤変）を抑えることは技術的に不可能とされていたのを独自の方法で成し遂げたということ、もう一つは、「お茶は急須でいれてタダで飲むもの、お金を出して買って飲む人はいない」と一般には思われていたのに対するチャレンジであったということです。「お茶の原価はコーヒーよりも高い。缶入りにしてコーヒーと同じ値段で売っても決しておかしくない」という強い信念が原動力でした。

1989 年「お～いお茶」に改称。その後、1990 年でも未だ約 100 億円の市場規模だった緑茶飲料市場は 2005 年には約 4500 億円の規模にまで成長しますが、他社が追随したときには既に「お茶は伊藤園」という圧倒的なブランドを築き上げていました。

技術力とブランド力とそれらを活かすマーケティング力とを武器に、新たに創出された未踏のマーケットの急成長を我が物として、伊藤園という会社も急成長を遂げたのです。



### パイを拡げるか

しかし、消費者の健康志向を背景に急成長し、伊藤園の業績を牽引してきた緑茶飲料市場も2005年にピークをつけて、直近は4000億円台前半の規模で頭打ちとなっています。

このパイがまだ拡がるかどうかに関しては、飲料化比率という言葉が一つの鍵となりそうです。日本で飲まれている緑茶のうち、缶やペット飲料の占める割合です。推計で約20%まで上昇してきてはいますが、紅茶やコーヒーの同比率は約30%以上ですから、緑茶飲料も同程度まで伸びると考えるならば市場規模は6000億円以上にまで拡大する計算です。

もう一つ重要な鍵は海外市場です。最近、特に米国で健康志向の高まりから緑茶の健康性に対する注目度が高まりつつあるようです。伊藤園の北米での売上は全て合わせても数十億円に過ぎませんから、日本でのようにマーケティングが成功するならば、相当な成長もあり得ます。

### パイの奪い合いに勝利するか

競争の激しい清涼飲料業界において、パイの奪い合いに勝利するのは並大抵のことではありません。しかし、ここで注目されるのは市場規模が頭打ちになっても、伊藤園はシェアを伸ばし続けていることです。もちろん、一部で安売りを仕掛けたりといったこともあるかも知れませんが、ブランドからもたらされる安心・信頼が大きな強みとなっていると思われます。

さらに、今年10月には、改正加工食品品質表示基準が完全施行され緑茶飲料の原料原産地表示が義務化されます。長年にわたり原料茶葉の安定調達と品質維持のため契約農家と自社農園の拡大に努めてきた伊藤園が、また一歩優位に立つことになりそうです。

蛇足ですが、食の安全・安心と言えばトレーサビリティ（生産履歴の追跡）が不可欠。この伊藤園でも「(株)サトー（2008年11月の月次報告書で紹介）」のシステムが使われています。



### 独立系、直販、社会貢献

ところで、技術力とブランド力ということで話を進めてきましたが、実は伊藤園の最大の強みは直販部隊の営業力を中心とするマーケティング力かもしれません。他社が卸会社を經由して販売しているのに対し、伊藤園は自社の社員が直接きめ細かく営業を展開しています。販管費増との諸刃の剣ではありますが、そのおかげで販売動向に即した販促手段や商品開発をスピーディに実行できているのです。（ちなみに、伊藤園では優秀な人材の確保のため、たとえばベビーシッターやホームヘルパーの料金を全額補助する制度なども整備されています。）

また、伊藤園の経営を見ると、食の安全に対する消費者の関心が高まる前から無着色・無香料にこだわり国産茶葉100%使用をうたったり、あるいは業界が緑茶飲料ブームに沸いているとき既に茶葉の安定調達を視野に入れて茶産地育成事業に掛かっていたりなど、先見性を持って業界をリードしてきています。しかも、伊藤園による契約茶園の育成により遊休農地が開墾されて最先端の機械化農業が行われているため、例えば九州の都市部は茶葉の有力産地としての体制が整ってくるなど、会社の事業自体が地域振興の起爆剤にもなっています。

### 日本茶以外の分野

今回は、伊藤園の『お茶』に焦点を当ててご紹介しましたが、実は伊藤園の全売上高のうち、日本茶飲料・茶葉は約半分強に過ぎません。その他の主なところでは、「充実野菜」などの野菜飲料、「W」などのコーヒー飲料、「ビタミンフルーツ」などの果実飲料、「ウーロン茶」「ジャスミン茶」などの中国茶飲料があり、中でも野菜飲料はカゴメとの2強ともいわれる地位を占めています。



最後に、最近の戦略的出来事をおみますと、2008年から輸入ミネラルウォーター「エビアン」の独占販売権を取得し販路を利用して自社製品の業務用への展開を目論んでいますし、冒頭で弱点と述べたコーヒーについてはコーヒーチェーンのタリーズを2006年から傘下におさめて活用を図っています。『伊藤園』というブランドの力が及びにくい分野に対する、一つの答えかも知れません。

グラフはすべて組入れ時を 100 として指数化し、期間をありがとうファンド設定来で統一して表示しています。

## さわかみファンド



### 株式組入上位10銘柄

	銘柄	コード	業種	組入比率
1	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	2.74%
2	デンソー	6902	輸送用機器	1.86%
3	ホンダ	7267	輸送用機器	1.75%
4	信越化学工業	4063	化学	1.74%
5	パナソニック	6752	電気機器	1.54%
6	コマツ	6301	機械	1.50%
7	シャープ	6753	電気機器	1.46%
8	テルモ	4543	精密機器	1.26%
9	クボタ	6326	機械	1.21%
10	日本電産	6594	電気機器	1.19%

上記比率は、純資産総額に対する比率です。

## トヨタグループ株式ファンドF (適格機関投資家専用私募)



### マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	コード	業種	保有比率
1	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	50.11%
2	デンソー	6902	輸送用機器	17.22%
3	豊田自動織機	6201	輸送用機器	7.15%
4	アイシン精機	7259	輸送用機器	4.70%
5	ダイハツ工業	7262	輸送用機器	3.34%
6	豊田通商	8015	卸売業	2.96%
7	あいおい損害保険	8761	保険業	2.85%
8	トヨタ紡織	3116	輸送用機器	1.86%
9	豊田合成	7282	輸送用機器	1.81%
10	ジェイテクト	6473	機械	1.76%

個別銘柄の保有比率は、現物株式の組み入れ = 100% とした各銘柄の比率です。

## 社会貢献ファンド (適格機関投資家専用)

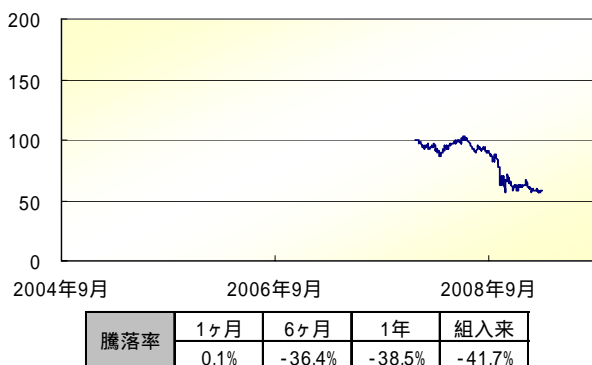


### マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	コード	業種	構成比率
1	ファナック	6954	電気機器	3.7%
2	堀場製作所	6856	電気機器	3.5%
3	伊藤園	2593	食料品	3.4%
4	リコー	7752	電気機器	3.3%
5	シャープ	6753	電気機器	3.3%
6	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	3.2%
7	デンソー	6902	輸送用機器	3.2%
8	ホンダ	7267	輸送用機器	3.0%
9	クラレ	3405	化学	3.0%
10	キーエンス	6861	電気機器	2.8%

構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。

## TMA長期投資ファンド (適格機関投資家限定)



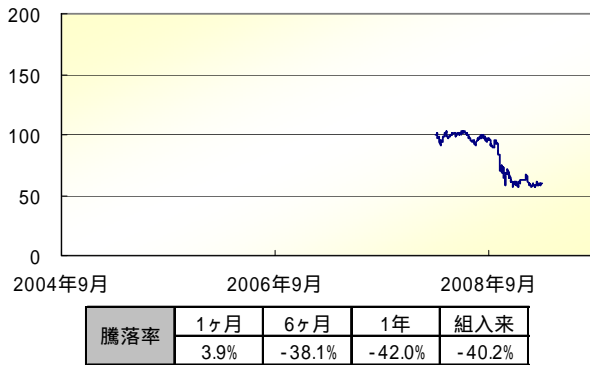
### マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	国	業種	比率
1	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	4.4%
2	BERKSHIRE HATHAWAY INC.-CL A	アメリカ	保険	4.2%
3	信越化学工業	日本	基礎素材	3.6%
4	キーエンス	日本	産業用エレクトロニクス	3.6%
5	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬・バイオ・ライフ	3.5%
6	花王	日本	家庭用品	3.1%
7	テルモ	日本	医薬品・ヘルスケア	2.9%
8	トヨタ自動車	日本	自動車	2.7%
9	シマノ	日本	機械	2.7%
10	POTASH CORP OF SASKATCHEWAN	アメリカ	素材	2.5%

比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

## ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド S A (適格機関投資家限定)

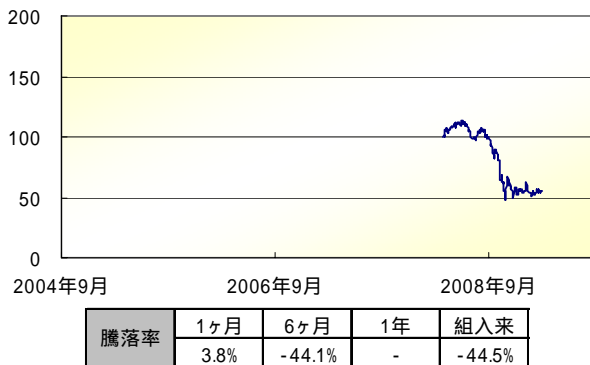


### マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	国	MSCI業種分類	比率
1	GROUPE DANONE	フランス	生活必需品	7.8%
2	ROCHE HOLDING AG	スイス	ヘルスケア	7.5%
3	CAPITA GROUP PLC	イギリス	資本財・サービス	6.8%
4	RECKITT BENCKISER	イギリス	生活必需品	6.6%
5	SYNTHESES INC	スイス	ヘルスケア	6.4%
6	HENNES & MAURITZ AB	スウェーデン	一般消費財・サービス	4.6%
7	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	4.2%
8	COLOPLAST -B	デンマーク	ヘルスケア	3.9%
9	SODEXO	フランス	一般消費財・サービス	3.7%
10	STRAUMANN HOLDING AG	スイス	ヘルスケア	3.6%

比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

## ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド S A (適格機関投資家限定)

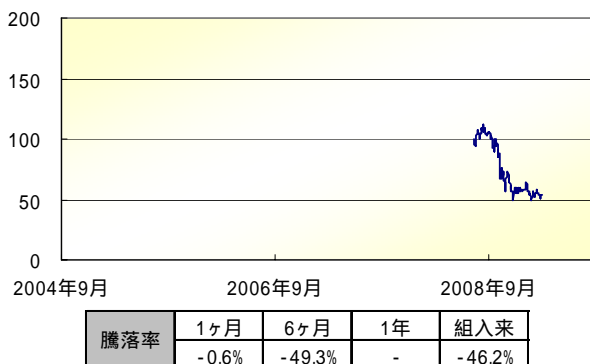


### マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	国	MSCI業種分類	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-ADR	台湾	情報技術	3.9%
2	GOLD FIELDS LTD	南アフリカ	素材	3.7%
3	EMPRESAS COPEC SA	チリ	資本財・サービス	3.6%
4	MTN GROUP LTD	南アフリカ	電気通信サービス	3.3%
5	ITC LTD	インド	生活必需品	3.2%
6	CIPLA LTD	インド	ヘルスケア	3.0%
7	BHARAT HEAVY ELECTRICALS	インド	資本財・サービス	3.0%
8	IMPALA PLATINUM HOLD	南アフリカ	素材	3.0%
9	JBS SA	ブラジル	生活必需品	3.0%
10	CHEUNG KONG HOLDINGS	香港	金融	3.0%

比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

## ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007 (適格機関投資家専用)



### マザーファンド株式組入上位10銘柄

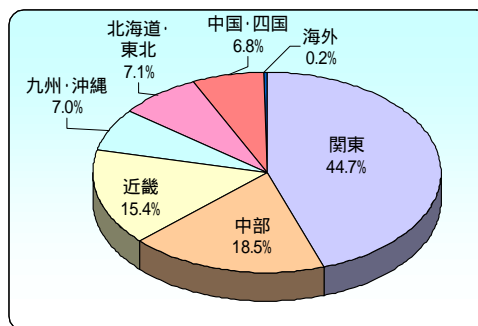
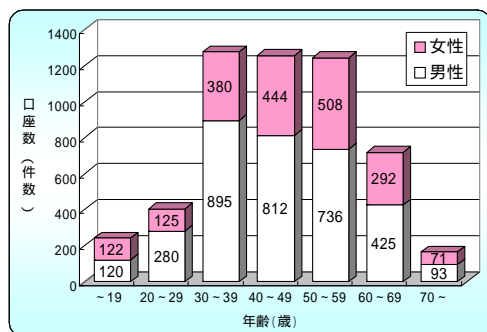
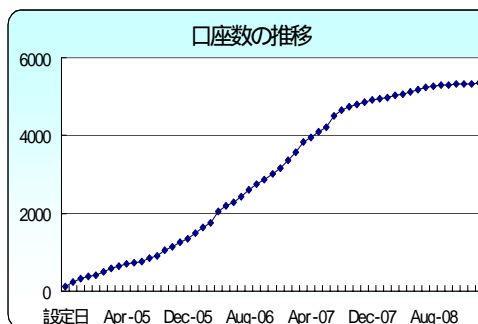
(組入れ銘柄は2009/1/30現在)

	銘柄	国	業種	構成比率
1	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	6.4%
2	HEWLETT PACKARD CO	アメリカ	テクノロジー・ハード機器	5.1%
3	BANK OF NEW YORK MELLON CORP	アメリカ	各種金融	4.4%
4	SAP AG	ドイツ	ソフトウェア・サービス	4.1%
5	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	スイス	各種金融	4.0%
6	ADECCO SA-REG	スイス	商業・専門サービス	3.9%
7	PUBLICIS GROUPE	フランス	メディア	3.8%
8	JULIUS BAER HOLDING AG-REG	スイス	各種金融	3.8%
9	EXPERIAN PLC	イギリス	商業・専門サービス	3.7%
10	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬・バイオ・ライフ	3.4%

構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。

口座数の推移と年齢・地域分布

顧客数	前月比
5,343名	20名
個人比率	毎月購入比率
99.3%	47.0%



毎月購入サービスのスケジュール

今後の毎月購入サービスになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取り扱いとなりますので予めご了承下さいませようお願い申し上げます。

	新規申込・口座変更	金額変更・中止	引落日	ファンド購入日 (約定日)
平成21年4月分	受付終了	3月25日(水)	4月6日(月)	4月16日(木)
平成21年5月分	4月3日(金)	4月21日(火)	5月7日(木)	5月19日(火)

特定口座をまだ開設されていないお客様へ

まだ特定口座を開設されていないお客様は現在一般口座に残高をお持ちです。一般口座から特定口座への残高の移管には期限がございます。2009年5月末を過ぎてしまいますと移管が出来なくなります。ご希望のお客様はお急ぎ下さい。

この件につきましてご不明な点がございましたらカスタマーサービス部( tel.03-5807-9710 )までお問合せ下さい。

定期定額購入(毎月購入)サービスへの問合せが増えています!

2009年2月にスタートした「1000円からのありがとうファンド」。長期の資産形成をする上で欠かせないのが、時間を味方につけて小額でも継続投資をすることです。100年に1度と言われている金融危機の最中、投資を継続した人としなかった人とでは自ずと結果も違ってきます。

ここ最近、定期定額購入(毎月購入)の新規申込みや再開を希望されるお客様が増えて参りました。今月は半年に1回お送りしている39レポート(P5~8)の中でも「定期定額購入(毎月購入)」について特集を組んでいます。今までスポット購入しかされていなかったお客様、タイミングを計ることに疲れてしまったお客様、是非ご参照ください。

## マネーカ 資産運用力を磨くのはいまがチャンス 大前 研一 / PHPビジネス新書



「マネーカ」というと、資産運用はもうこりこりだと短絡的に反応してしまう人もいるだろうが、これはわれわれ日本人がもっとも劣っている能力であり、じつは人生を左右するスキルだといっても言いすぎではないと思う（以上本文引用）。

経営コンサルタントとして激動の世界経済を生き抜いてきた著者ならではの視点から、日本人の「マネーカ」をどう高めていけばいいのかについて具体的なアドバイスが書かれている。本文の中で語られる「世界経済を読み、自分で考える」。この言葉に私たちは多くのことを学ばなければならない。自己責任が問われる時代。年齢問わずご一読ください。

（ありがとう投信 伝能浩）

### 『ありがとうファンド』の概要

商品分類	追加型株式投資信託 / ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	無期限
決算と収益分配	毎年8月31日(休業日の場合は翌営業日)
お申込単位	1,000円以上1円単位
お申込価額	取得申込受付日の翌々営業日の基準価額
ご解約単位	1円以上1円単位
ご解約価額	解約請求受付日の翌々営業日の基準価額
委託会社 (販売会社)	ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号(社)投資信託協会会員
受託会社	日興シティ信託銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第25号(社)日本証券業協会会員

### 『ありがとうファンド』にかかるリスク

主なリスク 「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「ビジネスリスク」、「為替リスク」、「カントリーリスク」、「ファンド資産の流出によるリスク」

当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。

### 『ありがとうファンド』にかかる手数料等

お申込手数料	手数料はありません。
ご換金(ご解約)手数料	手数料はありません。
信託財産留保額	信託財産留保額はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年0.945%(税込0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年1.6%±0.3%(概算)] 当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他の費用等	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してきます。 であるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

シリーズ最終回  
第3回 資産運用、その前に  
～家計のキャッシュフローを考えよう～

家計を管理されている方必読！！

キャッシュフローとは「お金の流れ」のこと。企業会計の世界でよく使われる言葉です。経営者の中で自分の会社のお金の流れを把握していない人はいないでしょう。

個人に置き換えても同じことが言えます。個人をその家庭の経営者だと考えると、やはり「お金の流れ」をしっかりと抑えておくことが重要です。毎月、自分はどこから収入（給与収入でも年金収入でも構いません）を得ていて、どれだけ使って、そして手元にいくら残っているのか。あるいは、いくら足りないのか。

リスクについてきちんと理解し、資産運用に取り組まれている方にとっては何をいまさらという内容だと思えますが、資産運用の大前提となる大切なポイントです。あらためて一緒に考えてみようと思います。

ここでちょっとしたクイズです。次の3つの語句を並び替え、式を完成させてください。

貯蓄 収入 支出 ⇨ ( ) - ( ) = ( )

いかがですか？

一つ目のカッコは分かりますね？ もちろん**収入**が入ります。

それでは二つ目はいかがでしょう。**貯蓄**を入れた方。この後は読む必要はありません。家計の中の「お金の流れ」をしっかりと把握されている方です。次の連動セミナー（資産運用編を予定）まで少々お待ちください。では、**支出**を入れた方。もう少しお付き合いください。「仕組み」を作ることにより、「お金の流れ」をぐっと把握しやすくなります。

収入 - 貯蓄 = 支出

この式は「貯まる家計の黄金式」と言われています。ちょっとした「仕組み」＝「貯蓄を先取りする」を「お金の流れ」の中に組み込むことにより確実にためられます。同時に「お金の流れ」を管理することができます。残ったお金の中で支出をコントロールするわけです。

林学博士で資産家としても著名な本多静六さんは著書の中でこういっています。

「収入の75%で暮らす」



このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

そのときの家族構成や年齢によって、実際にこの方法を取り入れることが難しい場合もありますが、「お金の流れ」を把握し、管理する上で非常に参考となるポイントなのでご紹介します。

先ほどの式を使うと、**収入(100%) - 貯蓄(25%) = 支出(75%)** ということですね。しっかりと貯まる「仕組み」ができています。この方法の素晴らしいところは、「**収入の75%で暮らせば、3ヶ月ごとに1か月分の生活費がたまる**」という点です。

1ヶ月目	支出75%	貯蓄25%	1ヶ月分の生活費 なるほど。毎月25%貯蓄することで、3ヶ月で1か月分の生活費(支出)が貯まりました。
2ヶ月目	支出75%	貯蓄25%	
3ヶ月目	支出75%	貯蓄25%	

つまり1年続ければ生活費の4か月分、3年で1年分が貯まることになります。3年続ければ、たとえ1年間収入が無くても何とかなるわけです。その安心感は非常に大切です。生活を破綻させないこと、つまりお金の流れを管理することが家庭の経営においては大切なのです。

いかがでしょうか？「お金の流れ」を把握するために家計簿を付けている方も多いと思いますが、その流れを「管理」されている方はどれくらいいるでしょう。付けているだけ…、使いすぎていることは分かったけど、その後どうしたらいいのかさっぱり分からない…。ちっとも貯まらない…。良く耳にする言葉です。

そのような方には、上の考え方をご家庭の事情に合わせて応用していただきたいと思います。将来の安心を得るため、できる範囲でやってみることをお勧めします。

お金の流れを把握し、そして管理する。これができるはじめて「運用」という考え方を家計に取り込んでいくことができます。お金にも働いてもらうという考え方です。

次回シリーズでは、ポイントをこれまで見てきた「家計」から「家計の中の資産運用」へシフトさせ皆様と一緒に勉強して参ります。お楽しみに！

(ありがとう投信 伝能 浩)

3月28日(土)のセミナーでは、家計管理に役立つ「仕組み」をさらに詳しくご紹介します。ご家庭でお金を管理されている方。是非ご参加くださいね。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申ください。

## 3月・4月開催ありがとう投信セミナー情報

開催日時 開催地 定員	タイトル	講師(担当)	会場詳細
3月7日(土) 13:30-15:30 東京 50名	<b>長期投資セミナー in 東京</b> <b>個別企業に学ぶ投資の考え方と</b> <b>これからの資産運用</b> HP上にさらに詳しい情報を掲載。	田代 芳孝氏 (松田産業株式会社) 村山 甲三郎 岡 大 (ありがとう投信株式会社)	T K P東京駅ビジネスセンター1号館 5階 カンファレンスルーム15B  中央区八重洲1-4-21 共同ビル JR 東京駅八重洲北口徒歩2分 ほか
3月14日(土) 11:00-12:30 東京 20名	月次運用報告会	村山 甲三郎 岡 大 (ありがとう投信株式会社)	ありがとう投信6F会議室  台東区上野3-19-4 矽化 <sup>®</sup> 6F JR 御徒町駅・銀座線上野広小路駅 徒歩3分
3月28日(土) 11:00-12:30 東京 20名	【月次レポート連動セミナー】 シリーズ最終回 『資産運用、その前に』 ～家計のキャッシュフロー を考えよう～	伝能 浩 (ありがとう投信株式会社)	ありがとう投信6F会議室  台東区上野3-19-4 矽化 <sup>®</sup> 6F JR 御徒町駅・銀座線上野広小路駅 徒歩3分
4月19日(日) 13:30-15:30 大阪 50名	<b>ありがとう会 in 大阪</b> <b>ファンドマネージャーと語ろう</b>  お待たせしました！ 1年半振りの大阪開催決定！	岡 大 (ありがとう投信株式会社)	ハートンホール日生御堂筋ビル 12F パンジーの間 大阪府大阪市中央区南船場4-2-4 地下鉄御堂筋線心齋橋駅3番出口より 徒歩2分
4月25日(土) 13:30-15:30 名古屋 50名	<b>ありがとう会 in 名古屋</b> <b>『もっと知りたいお金のコト』</b>  大好評！ライフネット生保 コラボセミナー名古屋開催	出口 治明氏 (ライフネット生命保険株式 会社 代表取締役) 村山 甲三郎 長谷 俊介 (ありがとう投信株式会社)	FP相談センター6Fセミナールーム  名古屋市中区栄4丁目1番1号 中日ビル6F

上記以外にも、[5月に金沢、甲府、6月に札幌、7月に京都でセミナー開催](#)を予定しています。

その他の地域でのセミナーも企画・準備中です。

またお近くでの開催ご希望がありましたら弊社までお問い合わせ下さい。

セミナーの参加費は無料です。また参加に口座開設の有無は問いませんので、ご家族、ご友人をお誘いいただくことも出来ます。

各回ともに会場の定員に限りがございます。ご参加ご希望の方はお早めにお申込ください。お申し込みは電話・FAX・E-mailで承っております。

**お申込後、当日直接会場までお越しください。参加票等の送付はございません。**

**会場へは公共交通機関をご利用ください。**

## 月次レポート連動セミナー

# なるほど、なっとく！マネープランニング

～ファイナンシャルリテラシーを高めよう！～

2009年1月よりスタートした『なるほど、なっとく！マネープランニング』ですが、3月が最後の回となります。1回ずつ独立した内容となっておりますので、最後の回のみのご参加でも十分理解できる内容です。



今回のセミナーも3月の月次レポート(P11～12)の内容とを連動させて行います。レポートをお読みになって興味をもたれた方は、ぜひセミナーにご参加下さい。特に第3回はこれから投資の準備を始めたいと考えている方には最適な内容となっております。

### <開催概要>

タイトル : 「なるほど、なっとく！マネープランニング」 ～ファイナンシャルリテラシーを高めよう～

開催日時 : 11:00～12:30 (1時間半) スケジュールは下記参照

場所 : ありがとう投信 6F 会議室

定員 : 各セミナー20名

参加費 : 無料

講師 : 月次レポート執筆者

目的 : お金や経済、ライフプランについての基礎的なことの理解と知識の再確認

対象者 : 口座開設の有無は問いません。ライフプラン・資産運用に興味をお持ちの初心者の方も大歓迎です。お誘い合わせの上ご参加下さい

お申込 : 電話又はホームページより

TEL 03-5807-9710 ホームページ <http://www.39asset.co.jp/html/seminar/seminfo.htm>

### <開催スケジュール>

	開催予定日	時間	題名(仮称)
第1回	1月31日(土)	11:00～12:30	『お金を知るスタートライン』 ～人生設計とお金の関係～
第2回	2月28日(土)	11:00～12:30	『人生に必要なお金を計算してみよう』
第3回	3月28日(土)	11:00～12:30	『資産運用、その前に』 ～家計のキャッシュフローを考えよう～